

## 会津平坦部での水稲初冬直播き栽培技術

福島県農業総合センター会津地域研究所

### 1 部門名

水稲－水稲－水稲直播

### 2 担当者名

小森秀雄、真部武、笹川正樹

### 3 要旨

水稲作大規模経営体の作業分散を図るため、晩秋から初冬に播種し越冬させる水稲初冬直播き栽培技術の留意点を明らかにした。この栽培法では、前年産種子を冷蔵保存し、播種前にチウラム水和剤（商品名：キヒゲン R-2 フロアブル）を塗沫処理し、播種前にシグモイド型肥料の全層施用することが適している。

- (1) 冷蔵保存した前年産種子にチウラム水和剤を塗沫処理し、初冬に播種を行った結果、苗立枯病への効果もあり、目標苗立率 50% を確保できた（図 1）。
- (2) 播種前にリン酸加里と同時にシグモイド型肥料を窒素成分で 1kg/a 施用することで、精玄米重 50kg/a を確保できた（表 1）。
- (3) 本栽培に当たっては、参考文献の「イネ初冬直播き技術マニュアル（岩手大学）」を参照する。

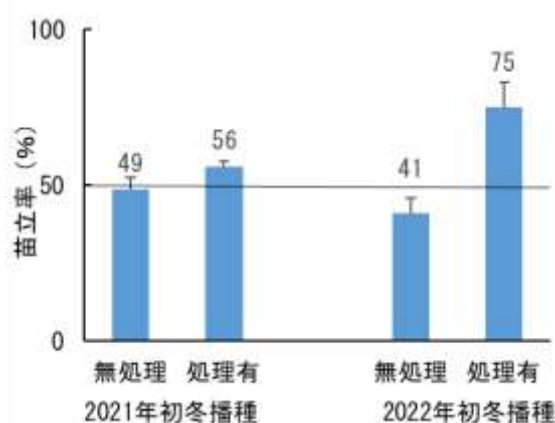


図 1 チウラム水和剤処理後の苗立率  
(種子：岩手大学提供前年産「ひとめぼれ」)

表 1 施肥体系試験における収量

肥料種類	施用方法	収穫年	苗立数 (本/㎡)	精玄米重 (kg/a)	㎡籾数 (×100粒)	千粒重 (g)	登熟歩 合 (%)
LPS100 +LP70	全層 施肥	2022年	205	48.4	231	22.4	92.2
LPS100			224	52.0	252	22.6	90.8
LPS100	全層 施肥	2023年	132	67.8	337	22.4	89.3
LPS80			131	70.0	349	22.3	90.7
LPS60			124	63.2	337	21.9	86.9

注1. 品種は「ひとめぼれ」。播種期、播種量は2022年が11月16日、1.5kg/a、2023年が11月4日、1.2kg/a。

注2. 施肥量(kg/a)は、N:1.0、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:1.0、K<sub>2</sub>O:1.0。

注3. 精玄米重及び千粒重は篩目が1.8mm以上、水分15%換算値。

### 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～5年度
- (2) 研究課題名 「米処」会津地方における新たな稲作経営の展開のための栽培技術の確立〔イノベーション創出強化推進事業〕

### 5 主な参考文献・資料

- (1) 「イネ初冬直播き技術マニュアル（岩手大学）」<https://fuyugoshi.wixsite.com/shotomaki>